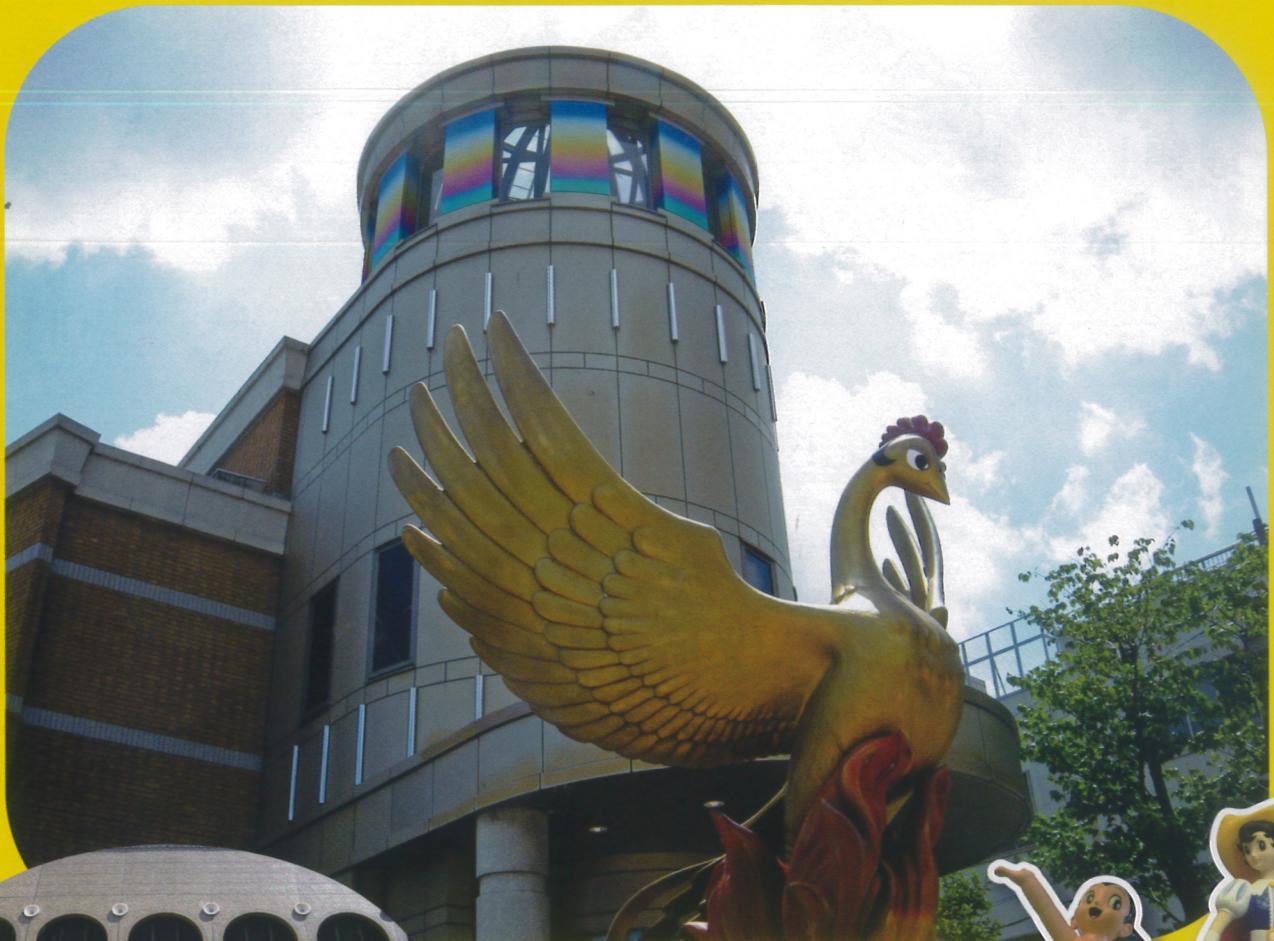


NPO法人兵庫県腎友会会報誌

No.130
2015.10.20
Autumn

まほう



宝塚市立 手塚治虫記念館



阪急 宝塚駅



鉄腕アトム

リボンの騎士

特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840
ホームページ●<http://homepage2.nifty.com/npohyojin/> E-mail●npohyojin@nifty.com

- | | | | | | |
|------------|-----------|------------------|-----------|--------------------|--------------------|
| ■阪神ブロック事務局 | 〒663-8215 | 西宮市今津水波町1-7 | ドミトリー高木1F | TEL.0798 (36) 9731 | FAX.0798 (36) 9732 |
| ■神戸ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7370 | FAX.078 (371) 8840 |
| ■東播ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7323 | FAX.078 (958) 7102 |
| ■西播ブロック事務局 | 〒672-8048 | 姫路市飾磨区三宅1-192 | 田中興産ビル6F | TEL.079 (285) 0577 | FAX.079 (285) 0577 |

認知症を知る

日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

「認知症になるのでは？」「認知症なのでは？」
「認知症ってなに？」と“認知症”に対する不安はだれもが持っていると思います。
恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。



医療法人社団裕和会
長尾クリニック 院長

長尾 和宏 先生

●職歴

1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局
1991年 医学博士（大阪大学）授与 市立芦屋病院内科医長
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



第1回 物忘れと認知症はどう違う？

毎日のように「認知症が増えている！」と報じられています。たしかに町医者外来をしても、開業当時の20年前と比べると増えていると感じます。しかし長寿化も進んでいますから「長生きすれば、歳をとれば、物忘れは当たり前？」いや「そもそも物忘れと認知症はどう違うの？」とよく聞かれます。

生活に困っていなければ認知症ではありません

物忘れは50～60歳を超えると誰でも増えてくる生理的現象です。私（57歳）も人の名前が出てなくなり、忘れ物も増えました。しかしおそらく認知症ではありません。なぜなら社会生活ができていますからです。生活に支障が無いからです。多少の物忘れがあっても生活に困ってなければそれは認知症ではありません。

あと、年齢も大切です。80歳と40歳の物忘れは少し意味が違ふと思います。深刻な問題は65歳以下の認知症、すなわち若年性認知症だと思います。

“認知症”という新作造語

認知症と単なる物忘れは別物です。ただ両者には連続性があります。認知症の前段階をMCIと言います。そもそも認知症は何十もの病気の総称です。そのなかでもアルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型、脳血管性が四大認知症と呼ばれています。

実は認知症という言葉は誕生してまだ10年たらず。たった10年前までは“ボケ”や“痴呆”^{ちほう}だったのです。しかし“認知症”という新作造語はどこか腑に落ちません。“認知機能障害”なら分かるのですが、不思議なことに途中を省略して“認知症”という短縮型になってしまったのです。よく「ニンチが進んだ」と言いますが、その言葉をそのまま受け取れば、本来なら認知機能が改善したということになりますが、反対の意味だと言うのです。

単なる“ボケ”が医療化された！？

“ボケ”が“認知症”とわざわざ病気になった理由のひとつはお薬の市場でしょう。実は病気になった途端に巨大な薬の市場が生まれたとも言えます。単なる“ボケ”で済まされていたものが『医療化』されたのです。私はあまり医療が必要で無い認知症は、あえて“ボケ”と呼んでいます。